

緊急取材

新型 コロナ ワクチンを 私が打たない理由

●ジャーナリスト・^{とりだまり}鳥集徹と本誌取材班

ないウイルスだということに加え、もともと免疫機能が弱っているから。
集中治療室があるような大病院の医師は、風邪で肺炎になった高齢者を診たことがないから、「コロナは怖い病気だ」と主張しますが、風邪にかかって肺炎で亡くなる高齢者は、いつだってたくさんいるんです」
万田さんはワクチンの有効性についても懐疑的だ。「臨床試験を行ったところ、接種していない群の発症者が

ないことだろう。
なぜ、そんなにも接種を嫌がる人が増えたのか。その背景にあるのは、「反ワクチン派」の存在である。「不妊や流産が起ころ」「遺伝情報が書き換えられる」といった話から、「磁石がくっつく」「マイクロナチップが入っている」というにわか信じがたい話まで、根拠のないデマを流し、不安をおおる人、そしてそれをうのみにする人が増えているというのだ。
接種率が3割を超えた日本にも、避ける人が一定数いると思われる。彼らもまた、こ

「打たない」選択をした理由——
各国で、新型コロナウイルスワクチンの接種率が頭打ちになり、問題となっている。必要回数の接種を済ませた人が49・2%（7月20日時点）と、国民の半数に達していない米国では、バイデン大統領が7月6日の演説で、接種を拒む人が多い地域などを対象に個別訪問を行い、接種を促していくという考えを示した。それだけ打つのを嫌がる人が増えて困っているということだろう。

テレビや新聞では、接種状況やワクチンの供給遅れが連日報じられている。しかしその一方で、副反応に苦しむ人は少なくなく、接種後も亡くなった人もいるという事実についてはほとんど黙殺されている。そんな中、医師や高齢者など優先接種される立場の中にも「打たない」と決めた人がある。彼らの胸中と、



うしたデマを信じているのだろうか。「ワクチン接種をしない」と決めた人たちにその理由をたずねた。
* 日本では21年2月、医療従

- 「有効性9割以上」のカラクリ
- 医師が「接種後に死亡した人の数はあと数倍」と考える理由
- 体質的に「打てない」人
- 何かあったときに国は対応してくれない

事者を皮切りに優先接種がスタートした。医療機関には新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすい患者が多く集まっている。その人たちに感染させないこと、医療従事者を新型コロナウイルス感染から守ることなどが、優先接種の対象となった理由だ。それでも打たない選択をした医師がいる。

「私打たない理由は2つあります。1つは私が40代であること。今後、子供が生まれる可能性が充分に考えられる年齢にとつて、1年足らずで開発されたワクチンは長期的にどんなリスクがあるかわかりません。それに、40代はコロナに感染しても重症化するリスクが低く、ワクチン接種で個人的に得られるメリットは少ないと感じる。現状では打たなくてもいいと判断しました」
そう話すのは、鹿児島で訪問診療のクリニックを開業する、医師で医療経済ジャーナリストの森田洋之さん（49才）だ。森田さんはワクチンの効果を完全に否定しているわけではなく、それなりに有効性があり、医師という職業上接種する選択も悪くはないと考えているという。だがもう1つ、打たないのにはこんな理由がある。森田さんが続ける。

「医学生や看護学生たちは実習を受ける際に、このワクチンの接種が求められています。しかし10代後半から20代前半の人は、コロナで亡くなるリスクはほとんどありません。にもかかわらず、長期的な安全性が不明なワクチンを打つようプレッシャーをかけられているのは、とても気の毒です。
現役の医療従事者も、本当は全員が打っているわけではなく、体感として接種

率8、9割だと思われれます。しかし、打ちたくないと思えば、上げづらい雰囲気がある。ならば、「私は打っていませんよ」と言っておられる医師が1人くらいいてもいいのではないかと、そんな気持ちから表明しています」
ワクチンを打たないと公言している医師はほかにいる。群馬県で緩和ケア診療所を開設している萬田緑平さん（57才）だ。新型コロナウイルスのことを、萬田さんは「風邪」と言い切る。「子供や若い人は新型コロナウイルスにかかっても、ほとんどが軽症で済んでいるのが現状です。それでは、なぜ年齢が高いほど亡くなる人が多いかというと、これまでかかったこと

162人だったのに対し、接種した群の発症者が8人だったことから、有効率95%と宣伝されています。しかし臨床試験には、各群約1万8000人ずつが参加しており、それを母数にして計算すると、発症者は全体で0・84%しか減っていないのです。
言い換えると1人の発症を減らすためには、100人以上にワクチンを打たなければいけない計算になる。しかも、これは海外での臨床試験の結果です。感染者が海外の数の十分の1と少ない日本に置き換えれば、数千人に打って、やっと1人の発症者を減らせるくらいの効果であるということになってしまふ」
多くのコロナ患者を診療し、ワクチン接種も行ってきた医師の中にも、「自分は打たない」という人がいる。現在、ワクチン接種にも従事しているある医師は、その理由をこう打ち明ける。

「飛行機が落ちるのが怖くてわざわざ電車で行くのと同じで、未知のワクチンを打つのはやはり抵抗があるというのはいちばんの理由です。また、発熱外来でたくさんの方にコロナ患者に接してきたのに、私は発症しなかった。すでに免疫があるのではないかと考えているのです。同様の理由で打っていない医師や看護師は

大学を拠点とした接種も始まっているが……
率8、9割だと思われれます。しかし、打ちたくないと思えば、上げづらい雰囲気がある。ならば、「私は打っていませんよ」と言っておられる医師が1人くらいいてもいいのではないかと、そんな気持ちから表明しています」
ワクチンを打たないと公言している医師はほかにいる。群馬県で緩和ケア診療所を開設している萬田緑平さん（57才）だ。新型コロナウイルスのことを、萬田さんは「風邪」と言い切る。「子供や若い人は新型コロナウイルスにかかっても、ほとんどが軽症で済んでいるのが現状です。それでは、なぜ年齢が高いほど亡くなる人が多いかというと、これまでかかったこと



訴訟に発展したサリドマイドによる薬害も、当初は「関連性なし」と報道されていた。

「実は、私がワクチンを打った人の中にも、接種後に体調が大きく悪化した人が10人くらいいます。幸い亡くなった人はいませんが、発熱した後に体力が衰えてしまっ

「実際に患者にワクチンを打つ中で、副反応に苦しむ人がいたことも、懸念の理由になっている。
「実は、私がワクチンを打った人の中にも、接種後に体調が大きく悪化した人が10人くらいいます。幸い亡くなった人はいませんが、発熱した後に体力が衰えてしまっ

た高齢者や、原因不明の腰痛が出た人も複数いる。こうした状況を見て、打って大丈夫なのか？と密かに思っている医療従事者は多いと思います。

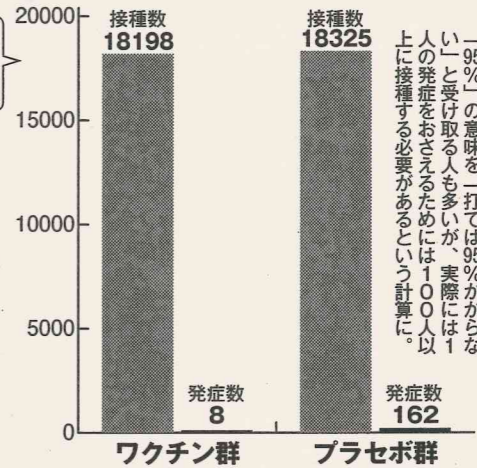
厚労省のホームページでは、「ワクチンを接種できない人」の例としてワクチンの成分に重度のアレルギーの既往歴がある人を挙げていますが、既往歴がなかったとしても、副反応が強く出やすい人がいるのだ。

かつての薬もうやむやだった

医療従事者の次に優先接種の対象となつたのが65才以上の高齢者だ。新型コロナウイルスは高齢になるほど致死率が高い。副反応のデメリットがあつても、高齢者はメリットが大きいとされているが、それでもワクチンを打たない選択をした人がいる。大学元教授の70代の女性はどう話すか。

デマと断言する方がデマではないのか

「HPV（子宮頸がん）ワクチンを受けた数年後に、極度の体調不良に陥りました。回復に1年以上要し、治療に大変苦労したのですが、医師から「HPVワクチンの副作用があるのでは？」と言われたんです。それを証明することはできませんが、今回のワクチンも、数年後に病気が起こることがあり得るのではないかと思っています」



グラフで表現するとその差の少なさがわかる

「有効率95%」その内訳と意味

	ワクチン群	プラセボ群
接種数	18198	18325
発症数	8	162

$$8 \div 162 \times 100 = 4.9\%$$

$$100\% - 4.9\% = \text{有効率}95\%$$

※有効成分を含まない薬のこと。治験で用いられる。

「過去の薬害に関する報道をずっと目にしてきて、医薬品の被害者にまともに対応してこなかった国の振舞い方に不信感を持っていきます。過去に薬害が指摘された別の病気のワ

クチンについても、本当に安全で効果があるといえるのか、国はまともに追跡調査してこなかった。今回は接種後にたくさんの方が亡くなっているのに、国は「因果関係が評価できない」と言っていて、きちんと調べようとしていません。それに対する抗議の意味も込めて、打たないと決意したのです」

「打たないと危ないと考える友人も多く、たくさんの方が接種するのではないかと思います。そんな中で、『反ワクチン』と言われてしまうのが怖くて、『私は打たない』と安易に話せない閉塞感がキャンパスにはあります」

「HPV（子宮頸がん）ワクチンを受けた数年後に、極度の体調不良に陥りました。回復に1年以上要し、治療に大変苦労したのですが、医師から「HPVワクチンの副作用があるのでは？」と言われたんです。それを証明することはできませんが、今回のワクチンも、数年後に病気が起こることがあり得るのではないかと思っています」

インフルエンザに比べて死者数が多い

が多いですが、長期的に健康の影響を考える視点が重要だと考えています」（女子学生）

「臨床試験で発症予防効果がある」とされましたが、感染そのものや死亡を減らす効果は証明されていません。特に最

近の変異種に対する効果は限定的だと思われれます。感染予防効果が証明されていない以上、集団免疫ができるというのはいまのところ期待できません。

「接種の原因とは言いえない。ただ、インフルエンザワクチン接種後の死亡は、毎年、推定最大5000万人ほどの接種で、数人から多い年で10人程度しか報告されていない。それに比べると、明らかに突出した数であることは否定できない。佐藤さんが続ける。

「単純にワクチン接種後の死亡者の数を接種人数で割ると、約5万人に1人となります。その中には、相当程度ワクチン接種が原因のかたが含まれているでしょう。さらには、厚労省に報告されていない事例も、かなりの数があると思われる。なぜなら、報告は医師や医療機関の判断により、現実には接種後に亡くなつても報告してくれないと訴える遺族の声があるからです。そういうことを鑑みれば、接種後の死亡事例は、報告されている数の10倍くらいあつても不思議ではない。もしかすると、1万人に1人、5000人に1人の割合で亡くなる可能性まで視野に入れておく必要がある。薬害防止を専門とする私の立場から言うと、副反応に

「HIV（子宮頸がん）ワクチンを受けた数年後に、極度の体調不良に陥りました。回復に1年以上要し、治療に大変苦労したのですが、医師から「HPVワクチンの副作用があるのでは？」と言われたんです。それを証明することはできませんが、今回のワクチンも、数年後に病気が起こることがあり得るのではないかと思っています」



特に2回目の接種の後は、発熱や腕の痛みなど副反応を訴える人も少なくない。

「接種の原因とは言いえない。ただ、インフルエンザワクチン接種後の死亡は、毎年、推定最大5000万人ほどの接種で、数人から多い年で10人程度しか報告されていない。それに比べると、明らかに突出した数であることは否定できない。佐藤さんが続ける。

「接種の原因とは言いえない。ただ、インフルエンザワクチン接種後の死亡は、毎年、推定最大5000万人ほどの接種で、数人から多い年で10人程度しか報告されていない。それに比べると、明らかに突出した数であることは否定できない。佐藤さんが続ける。

「接種の原因とは言いえない。ただ、インフルエンザワクチン接種後の死亡は、毎年、推定最大5000万人ほどの接種で、数人から多い年で10人程度しか報告されていない。それに比べると、明らかに突出した数であることは否定できない。佐藤さんが続ける。

*7月11日までにファイザー社またはモデルナ社のワクチンを1回以上接種した人の数。厚生科学審議会資料より。

厚労省 紛糾 日本人は 副反応が 驚くほど多い

内部報告

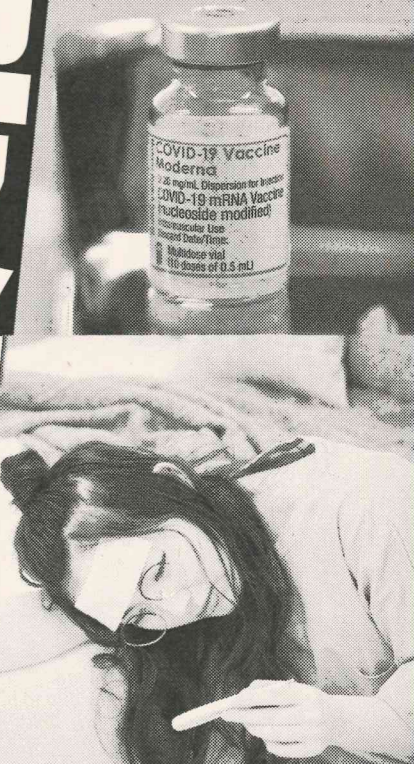


河野太郎ワクチン担当相は、ひたすらワクチン供給を急ぐ。

ワクチン接種がウイルスに打ち克つ最善の手段であることは論をまたない。しかし、「そのワクチンで本当にいいのか」は常に検証され続けるべきだ。いま日本人が打っている外国製ワクチンは、なぜか日本人に多くの副反応を出現させる。その事実を、絶対に知っておくべきだ。

「2回目の接種後は4人に3人が発熱する。発熱は40℃に達することもある」
新型コロナウイルスのワクチンの副反応を調べている国の研究班がそう注意喚起し、

たという。7月21日の厚労省審議会「予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会」で明らかになった。全国紙の厚労省担当記者が言う。「明らかにほかのワクチンではありえないことが起きています。発熱が必ずしも重篤にならないといつても、接種後に高熱を出したら体力的にもたない高齢者や病人、病弱な人もいます。さすがに今回のデータを見て厚労省は安易に「接種しても大丈夫です」と



で増えていることになる。さらに、会議では副反応の深刻さを示す冒頭の自衛隊員のデータについてやり取りが交わされた。発熱の多さについて、委員の1人が、厚労省の研究班代表である順天堂大学医学部の伊藤澄信客員教授に、こう尋ねた。

「モデルナ製は海外のデータでもこんなに年齢関係なく（副反応の発生率が）高かった印象ですか？」
伊藤教授は困惑しながらこう語った。

「ちよつとびっくりするくらい高いので、海外の治験のデータも含めて、（製造元の）武田薬品の方に再度確認しようと思っております」
つまり、日本人は海外に比べて、副反応が驚くほど多いとの事実を認めたのだ。また2回目の接種を受けた

自衛隊員のうち40%を超える419人が、接種3日後まで病休、または仕事にならない状況だったという。伊藤教授は、病休の多さについて胸の内をこう明かした。

「自衛隊員ですので、頑強なかとで病休が4割、というのはショック」
「翌々日の病欠者が35人なので、5%くらいの頻度でなると考えると、本当に企業も体調を考えて（職域接種を慎重に）やらないと危ないのではないかと危惧しております」

そして、伊藤教授はこう続けた。
「実は（発熱が）38℃以上の比率も高くて、最高40℃という人もいます。やはり（発熱が）これほど高い状態で、負担がかかるので、それについての準備をして接種をしていただかないと危ないのではと思います」
特に高齢者のかたはあまり自覚症状が生まれませんので、自覚症状がないままに無理をされる危険は、相当程度あるのではないかと危惧をしております」

また、審議会では別の重要なことも言及された。委員の1人が、日本人に副反応が多い理由を「（海外の人と）体重の違いもあるのか」という意見もあった」と述べたのだ。

医療ガバナンス研究所理事長の上昌広さんが指摘する。「問題は日本人と欧米人に同じ量を投与すること。日本人成人の平均体重は男性約70kg、女性約50kgで、アメリカ人は男性約90kg、女性約75kgですが、ワクチンは体格差を考慮せず、アメリカ人と同じ30μgを接種します。それだと日本人には過剰投与となり、副反応が増える恐れがあります」

本誌もこれまで、「日本人へのワクチン量の過剰投与」説にたびたび触れてきた。しかし、従来のワクチン、たとえばインフルエンザワクチンなどは、体格や体重に関係なく同じ用量を打つても問題ないことから、「同様に新型コロナウイルスワクチンも問題ない」と主張する専門家が多数、この問題はほぼ黙殺されてきた。だが、ついに国の委員会でも公に問題視する発言が飛び出したのだ。上さんは、今回のワクチンは「これまでとはまったく違う」と強調する。「ファイザー製とモデルナ製は、遺伝子の設計図を体内に

打ち込む「mRNAワクチン」という人類史上初のワクチンです。従来のワクチンとは安全性が異なる可能性があり、投与する量についても慎重な判断が必要なのですが、日本ではまだ十分な検証はなされていません。

アメリカの治験ではファイザー製ワクチンは10μg、20μg、30μgと量が増えるほど副反応が多くなった。投与量の多さが副反応を引き起こす可能性が示唆されているんです」
多くの接種者に副反応がみられる以上、厚労省はその原因の可能性を「ワクチンの過剰投与」を徹底的に調査すべきではないか。
新潟大学名誉教授の岡田正彦さんも指摘する。「体格差だけでなく、薬を代謝する酵素などの問題も含めて体質や遺伝子の違いが大きき理由かもしれません。もつとえば人種差がある。今回のワクチンはまだ十分に調べられていないので、もしかしたら日本人にはワクチン量が多い可能性もあります」
一方で日本人に副反応が多い理由は、「量」が原因ではないと分析することもできる。血液内科医の中村幸嗣さんは、「日本人には「免疫的ファクターX」があるのではないか」と指摘する。
「そもそも日本人は欧米人と比べて新型コロナウイルスの感染率が低いので、感染を抑えるなん

新型コロナワクチン 見て見ぬフリはできない!



モデルナ製は大規模接種や職域接種で打たれる。

専門家がショックを受けて、「準備をしないと危ない」と警鐘を鳴らすのが、日本のワクチン接種の現実である。

「ファイザー製とモデルナ製は、遺伝子の設計図を体内に

打ち込む「mRNAワクチン」という人類史上初のワクチンです。従来のワクチンとは安全性が異なる可能性があり、投与する量についても慎重な判断が必要なのですが、日本ではまだ十分な検証はなされていません。

ワクチン接種の先進国、イギリスで異変が起きてい
る。感染者の急増とともに、なぜか「ワクチンを打っ
た人が感染すると死亡率が上がる」というデータが報
告されたのだ。その謎に迫る。

7月半ば、新型コロナの新
規感染者が半年ぶりに5万人
を超えたイギリス。

だがジョンソン首相は7月
19日、イングランドのロック
ダウン規制の大半を解除した。
すでにパブやレストランの座
席制限が撤廃され、ナイトク
ラブは営業を再開。多くのイ
ングランドっ子は、マスクを
外してコロナ禍以前のような
生活を楽しんでいる。

同調査は、2月1日から7
月19日までにデルタ株に感染
した約23万人をワクチンの接
種回数などで分類。ワクチン
未接種の感染者は12万140
2人で、2回接種済みの感染
者は2万8773人。そのう
ち、死亡者は未接種が165
人、2回接種が224人だっ
た。

驚くべき結果だったのは、
亡くなった人の割合を計算し
た結果だ。ワクチンを2回接
種しながらも感染した人の死
亡率（0.78%）が、未接種
の感染者の死亡率（0.14
%）の5倍以上に達したので
ある。

この数字を額面通りに受け
取れば、「ワクチンは接種し
た人が死に近づく」と理
解できるかもしれない。実際
はそうではないのだが、ワク
チンの接種がこれから進む日
本にとって示唆的で、教訓に
なるデータなので、決して無
視できるものではない。

「日本と同様にイギリスもリ
スクのある人を優先して接種
を始めたので、ワクチンを打
った集団に高齢者が多く、打
たなかった集団には若者が比
較的多かったのでしょう。わ
かりやすく言えば、ワクチン
を打ったけれど寝たきりの老
人と、ワクチンを打たなかっ
たが外で遊び回っている若者
の、どちらが感染したときに
命を落としやすいかというこ
とです。従ってワクチンを接
種したら死亡率が5倍になる
という数字は単純に鵜呑みに
できません」

イギリスでは7月下旬現在、
ほぼすべての新規感染者が、
4月頃にインドから流入した
デルタ株だ。多いときで1日
1500人超、計12万人を超
える人が新型コロナウイルスで命を落
としたイギリスだが、ワクチ
ンが行き渡りつつあるいま、
感染力が強いデルタ株でも、
死亡者は1日数十人にとどま
る。公衆衛生局によれば、デ
ルタ株でも入院に至る重症化

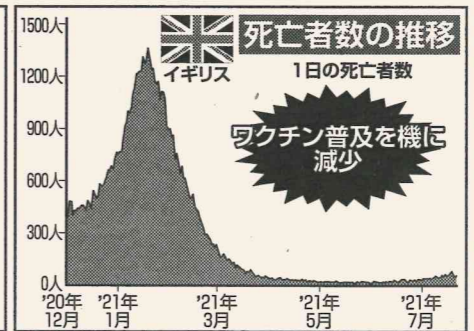
を1回接種で8割弱、2回接
種では9割超防げるという。
実際、先の調査でも、死亡者
の大半を占める高齢者層（50
才以上）において、ワクチン未
接種の感染者の死亡率は5.
6%で、2回接種の人の死亡
率1.64%を大幅に上回った。
ではなぜ全年代において、
2回接種の感染者の方が、未
接種の感染者の死亡率より高
かったのか。

それは、若年者層（50才未
満）においての未接種の感染
者の死亡率（0.028%）
と、2回接種の感染者の死亡
率（0.026%）が拮抗し
ていることと、若年者層の未
接種の感染者数が圧倒的に多
かったため、全体の未接種感
染者の「分母」が大きくなり、
死亡率が大幅に下げられたこ
とが理由だろう。

東京でも7月下旬時点でデ
ルタ株は全体の3割超まで増
えてきていて、ワクチン接種
が進んでいる現状を考えると、

「そのデータを見ると、2回
ワクチンを接種しても、一定
の割合で感染者が発生するこ
とがわかります。
2回接種してから感染する
今後、イギリスと似たような
状況になるかもしれない。つ
まり、「ワクチンを打っても
若い人の死亡率が減らない」
という状況である。
中村さんが指摘するのは、
「ワクチンを打ってもコロナ
に感染することがある」とい
う事実だ。

「そのデータを見ると、2回
ワクチンを接種しても、一定
の割合で感染者が発生するこ
とがわかります。
2回接種してから感染する
今後、イギリスと似たような
状況になるかもしれない。つ
まり、「ワクチンを打っても
若い人の死亡率が減らない」
という状況である。
中村さんが指摘するのは、
「ワクチンを打ってもコロナ
に感染することがある」とい
う事実だ。



「そのデータを見ると、2回
ワクチンを接種しても、一定
の割合で感染者が発生するこ
とがわかります。
2回接種してから感染する
今後、イギリスと似たような
状況になるかもしれない。つ
まり、「ワクチンを打っても
若い人の死亡率が減らない」
という状況である。
中村さんが指摘するのは、
「ワクチンを打ってもコロナ
に感染することがある」とい
う事実だ。

新型コロナワクチン
見て見ぬふりはできない! 2



ジョンソン首相は規制解除による
コロナ死者の増加は覚悟してい
るという。

感染対策を
すっかり忘れる

と、ワクチンを3回接種し
た状態に近くなり、免疫機
能が強化されている状態では、
ワクチン接種2回以上に、
発熱など副反応のような症状
が強く出ることが考えられま
す。その傾向は、もともと免
疫機能が充実している若者の
方が顕著かもしれません。
そうしたケースでは、ワク
チンを接種してから感染した
人の方が、接種してない人よ
りも死に至りやすくなる可能
性があります」（中村さん）

インターパーク倉持呼吸器
内科院長の倉持仁さんは「抗
体の有無」に注目する。
「ワクチンを接種しても、感
染を防ぐための抗体ができな
い人が数%はいます。実際に
私のクリニックで60人に2回
接種したケースでも、抗体が
できない人が3人いました。

デルタ株

感染者死亡率は

接種した人の方が

高い

データをどう読むか

抗体ができなかったのか、副反応が理由か、それとも

しかもワクチンを積極的に接
種するのは、健康に不安があ
る人。そうした人は体力や免
疫力の低下などで抗体ができ
にくい可能性があり、ワクチ
ンを接種しても感染リスクが
残りやすい。
そうした人が「2回接種し
たから安心」と出歩いたり、
マスクや手洗いなどの感染対
策を怠ると、当然、コロナに
感染してしまいます。イギリ
スでも、接種済み、の慢心か
ら、すっかり感染対策を忘れ
て街中に出かけた人が多いの
ではないでしょうか。それは
高齢者よりも、社会的にも活
動的である若い世代が多いは
ずです。そうした若者こそ、
デルタ株の感染を招いて死亡
者を増やした原因かもしれま
せん」（倉持さん）
前述のデータから読み取れ
るのは、「ワクチンは打って
いなくても感染対策をした
人」と「ワクチンを打ったと
いって対策をおろそかにした
人」の死亡リスクが、ほとん
ど変わらない可能性である。
前述通り、イギリスではワ
クチン普及後、全体の死亡者
が減っているのは明らかだ。
季節的な要因や、治療の精度
の向上によるものもあるかも
しれないが、ワクチンが「脱
コロナ」の1つの解決策であ
ることは間違いない。だから
こそ、「接種後に何が起こる
のか」には細心の注意を払い、
分析を続けていくべきだろう。

「親権放棄」離婚の全真相 別居マンションに年下俳優、離婚発表直前のハグ撮

篠原涼子 浮気はしても夫の懇願を無視

72才

独占スクープドキュメント

雅子

東京五輪 毅然たる欠席 暗闘30日

美智子さまご憂慮を超えて

新型コロナウイルス
イギリス発表

感染者死亡率は接種した人の方が高い

をどう

厚労省 紛糾! 日本人は副反応が驚くほど多い

内部報告

緊急ルポ 「私が打たないこれだけの理由」

特別定価 440円 8月12日号

女性セブン

卓球ニッポン 初快挙の歓喜

五輪キャスター裏通信簿

あぁ大誤算! 老後に始めていけないこと20

子供と同居 昼寝 痛み止め薬 ペット 投資 サプリメント

特大 JO1 美しピンナップ

6年ぶり ソロコンサート 堂本光一 最速レポ

冷たい袋麺 ベストバイ 30

時アレンジ付き

完全離婚 マニユアル

モラハラ夫と

保奈美 夫を患者に略奪婚の終わらせ方

10年計画

佐藤健を撮景に挑ま満島ひかりのラブコール

八代亜紀 熟年離婚は年下夫の不倫暴露

1日わずか30秒 土下座で長生き

健康 寿命 美容 視力 間違いだらけのメガネ選び

しまむら 必勝 大活用術

進化する 世界初体験型施設が話題

65才までに 渡辺えり 鎌田實 落合恵子 アグネス・チャン

本音で語る これだけは やっておけばよかった